



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年11月14日

上場会社名 株式会社Sharing Innovations 上場取引所 東
コード番号 4178 URL <https://sharing-innovations.com>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 信田 人
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 西田 祐 TEL 03 (6456) 2451
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,848	2.7	168	220.3	163	193.8	101	475.0
2023年12月期第3四半期	3,746	△4.5	52	△68.0	55	△67.0	17	△83.2

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 101百万円 (500.4%) 2023年12月期第3四半期 16百万円 (△83.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	27.18	25.84
2023年12月期第3四半期	4.73	4.48

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,368	1,549	65.4
2023年12月期	2,318	1,448	62.4

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 1,548百万円 2023年12月期 1,447百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,175	2.3	280	125.5	280	121.5	140	311.6	37.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 3 Q	3,793,300株	2023年12月期	3,793,300株
② 期末自己株式数	2024年12月期 3 Q	49,700株	2023年12月期	49,700株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 3 Q	3,743,600株	2023年12月期 3 Q	3,741,758株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記)	8
(会計方針の変更に関する注記)	8
(会計上の見積りの変更に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進み、緩やかな回復基調にありましたが、ウクライナ・ロシア情勢など国際情勢の緊迫化に加え、原材料・エネルギー価格の高騰などのリスクがあり、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの主要事業であるデジタルトランスフォーメーション事業を取り巻く環境といたしましては、IT人材不足が今後ますます深刻化し、2030年には約45万人程度までIT人材の不足規模が拡大するとの推計結果が出ております。（出所：経済産業省委託事業「IT人材需給に関する調査」）

また、デジタルトランスフォーメーション（DX）のトレンドが進展する中、生産性の向上や業務の効率化を目的にクラウドファースト戦略を実行する企業は引き続き増加傾向となっております。また企業が従来型ITからクラウドへ移行するクラウドマイグレーションは、対象システム領域の多様化が顕著となっており、WEBシステムや情報系システムから基幹系システムへと対象システム領域が拡大しております。国内クラウド市場は、前年比37.8%増の5兆8,142億円（売上額ベース）となりました。また、2022年～2027年の年間平均成長率（CAGR：Compound Annual Growth Rate）は17.9%で推移し、2027年の市場規模は2022年比約2.3倍の13兆2,571億円になると予測されております。（出所：IDCJapan株式会社「国内クラウド市場予測、2023年～2027年」）

このような環境のもと、当社グループのデジタルトランスフォーメーション事業においては人材確保とIT技術の教育により、開発体制強化に努めてまいりましたが、営業や中堅エンジニアのリソースが不足しており、2022年下期より事業の構造改革に取り組んでまいりました。その後、コスト最適化と売上拡大の両軸で改革が進み、2023年下期より安定的に利益が出る体質へ復帰いたしました。当中間連結会計期間においては、クラウドインテグレーション領域にて、従来注力してきた中・小型案件で、受注ルールの適正化、案件管理の徹底による遅延の発生（追加コストの発生）の抑制等の効果により、収益性が向上いたしました。また、高難易度・大規模案件を扱うエンタープライズへの進出を開始し、当第3四半期連結累計期間において売上を計上いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,848,128千円（前年同期比2.7%増）、営業利益168,005千円（前年同期比220.3%増）、経常利益163,086千円（前年同期比193.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益101,738千円（前年同期比475.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① デジタルトランスフォーメーション事業

当事業においては、事業開始からM&Aを推進し、同時にIT人材の採用を行うことで開発体制の拡充を進めてまいりました。IT利活用の多様化・高度化に伴い拡大するIT需要を取り込み、各種Webシステム開発、スマホアプリ開発、クラウドインテグレーション等の案件を受注しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は3,556,101千円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は356,425千円（前年同期比68.8%増）となりました。

② プラットフォーム事業

当事業においては、「チャットで話せる占いアプリ-ウララ」を主力としたスマートフォン向けアプリの企画・開発・運営などに取り組んでおります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は316,097千円（前年同期比2.8%増）、セグメント利益（営業利益）は33,613千円（前年同期比22.1%減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産の残高は、前連結会計年度末に比べて50,027千円増加し、2,368,646千円となりました。主な要因は、のれんが80,242千円、受取手形、売掛金及び契約資産が41,218千円減少した一方、現金及び預金が165,260千円増加したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債の残高は、前連結会計年度末に比べて51,379千円減少し、818,662千円となりました。主な要因は、短期借入金が50,000円増加した一方、未払費用が36,421千円、長期借入金が26,820千円、その他流動負債に含まれる未払金が21,978千円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産の残高は、前連結会計年度末に比べて101,406千円増加し、1,549,983千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上により利益剰余金が101,738千円増加

したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2024年2月14日に公表しました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	822,764	988,025
受取手形、売掛金及び契約資産	657,201	615,982
仕掛品	4,028	381
その他	105,712	98,273
貸倒引当金	△21,113	-
流動資産合計	1,568,593	1,702,664
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	3,213	979
工具、器具及び備品（純額）	5,134	3,920
有形固定資産合計	8,348	4,900
無形固定資産		
のれん	672,808	592,566
その他	25,941	23,819
無形固定資産合計	698,750	616,386
投資その他の資産		
繰延税金資産	5,612	7,646
その他	45,726	45,460
貸倒引当金	△8,411	△8,411
投資その他の資産合計	42,927	44,695
固定資産合計	750,026	665,982
資産合計	2,318,619	2,368,646
負債の部		
流動負債		
買掛金	259,599	269,578
未払費用	143,237	106,816
短期借入金	-	50,000
1年内返済予定の長期借入金	35,760	35,760
賞与引当金	-	3,964
未払法人税等	46,415	40,743
その他	182,708	136,300
流動負債合計	667,721	643,162
固定負債		
長期借入金	202,320	175,500
固定負債合計	202,320	175,500
負債合計	870,041	818,662

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,525	436,525
資本剰余金	433,525	433,525
利益剰余金	680,900	782,638
自己株式	△101,444	△101,444
株主資本合計	1,449,507	1,551,245
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△2,206	△2,538
その他の包括利益累計額合計	△2,206	△2,538
新株予約権	1,276	1,276
純資産合計	1,448,577	1,549,983
負債純資産合計	2,318,619	2,368,646

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
売上高	3,746,974	3,848,128
売上原価	3,016,354	3,037,201
売上総利益	730,620	810,926
販売費及び一般管理費	678,170	642,921
営業利益	52,450	168,005
営業外収益		
受取利息	20	100
補助金収入	2,359	-
業務受託料	1,200	1,800
固定資産売却益	101	-
営業外収益合計	3,681	1,900
営業外費用		
支払利息	413	2,200
支払手数料	-	1,720
為替差損	214	2,898
営業外費用合計	627	6,819
経常利益	55,503	163,086
税金等調整前四半期純利益	55,503	163,086
法人税、住民税及び事業税	40,516	63,382
法人税等調整額	△2,704	△2,033
法人税等合計	37,811	61,348
四半期純利益	17,692	101,738
親会社株主に帰属する四半期純利益	17,692	101,738

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年9月30日)
四半期純利益	17,692	101,738
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△801	△331
その他の包括利益合計	△801	△331
四半期包括利益	16,890	101,406
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,890	101,406

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更に関する注記)

該当事項はありません。

(会計上の見積りの変更に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	9,270千円	10,288千円
のれんの償却額	62,730千円	80,242千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2023年1月1日 至2023年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランス フォーメーション 事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
クラウド インテグレーション システム	761,765	-	761,765	-	761,765
ソリューション	2,677,841	-	2,677,841	-	2,677,841
その他	-	307,368	307,368	-	307,368
顧客との契約から 生じる収益	3,439,606	307,368	3,746,974	-	3,746,974
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,439,606	307,368	3,746,974	-	3,746,974
セグメント間の内部 売上高又は振替高	19,066	-	19,066	△19,066	-
計	3,458,673	307,368	3,766,041	△19,066	3,746,974
セグメント利益	211,109	43,176	254,286	△201,835	52,450

(注) 1. セグメント利益の調整額△201,835千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。
全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自2024年1月1日 至2024年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	デジタルトランス フォーメーション 事業	プラットフォーム 事業	計		
売上高					
クラウド インテグレーション システム	733,476	-	733,476	-	733,476
ソリューション	2,798,554	-	2,798,554	-	2,798,554
その他	-	316,097	316,097	-	316,097
顧客との契約から 生じる収益	3,532,031	316,097	3,848,128	-	3,848,128
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	3,532,031	316,097	3,848,128	-	3,848,128
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,070	-	24,070	△24,070	-
計	3,556,101	316,097	3,872,198	△24,070	3,848,128
セグメント利益	356,425	33,613	390,039	△222,033	168,005

- (注) 1. セグメント利益の調整額△222,033千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。